

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2018年	5月	23日	記入者	久門 たつお
調査者名	久門	倉本	鈴木	仲谷	

調査対象先	金光(きんこう)寺(高野山真言宗)				
所在地	五條市上之町372			電話番号	
代表者 調査対応者	上之区の森本利守区長、尾来孝志住職(大澤寺住職が兼務)				
対象文化財	彫刻	県指定:	1件	国宝:	件
	建造物	県指定:	件棟	国宝:	件棟
				重文:	件
				重文:	件棟

地震対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input checked="" type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容		
	今後の予定		
	要望		
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない	<input type="checkbox"/> 資金が足りない
	今後の予定	<input checked="" type="checkbox"/> その他(鎌倉時代作の木造阿弥陀如来及両脇侍立像安置の本堂は江戸時代の建立とされる。基礎に緩みがあり、柱は老朽化で一部が腐食、瓦にズレが生じている。何とかしたい。)	
	要望	2007(平成19)年、江戸時代末期建造の庫裡の老朽化に伴い、地区費用で屋根瓦を全面修復し軽量化すると共に、床の一部部材を更新した。懸案の本堂補修は地区費用で検討していく。 県指定の仏像をお守りする建造物の補修に公的補助があればありがたい。地区の檀家は30戸を割っており費用調達は厳しい。	

防火対策

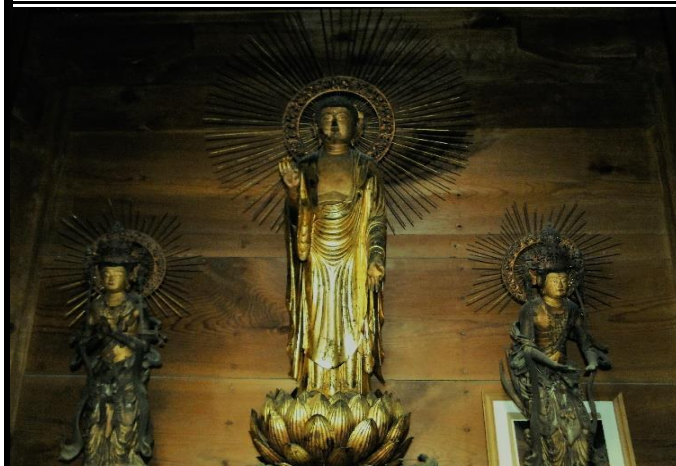
①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	2005(平成17)年から2年をかけ本堂、庫裡の火災報知機を更新した。火災報知機も設け、消火器も配備している。	
	今後の予定	毎年火災感知機、火災報知機の点検を進めたい。	
	要望	特にない。	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない	<input type="checkbox"/> 資金が足りない
	今後の予定	<input type="checkbox"/> その他()	
	要望		

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	金光(きんこう)寺(高野山真言宗)
-------	-------------------

獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input type="radio"/> A: 経験あり	<input checked="" type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答がAの場合	どのような被害か	
③ 今後	今後の予定、要望	近辺にイノシシ、アライグマが出没しているが、寺には被害は出ていない。本堂の床下に動物が侵入しないようネットを張っている。

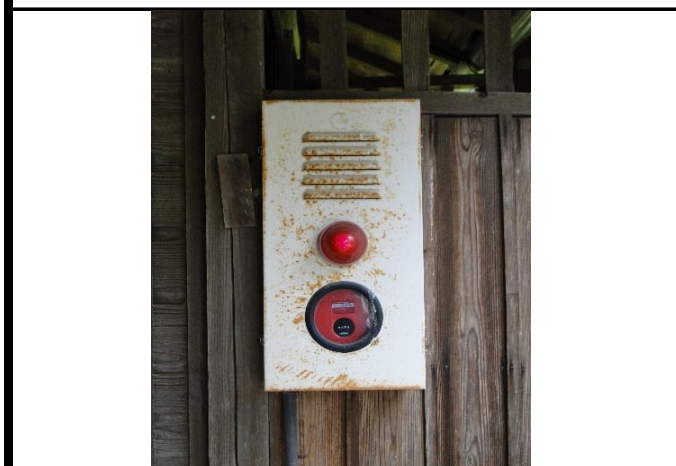
県指定の木造阿弥陀如来及両脇侍立像



瓦の軽量化工事を済ませた庫裡



本堂横に設置された火災報知機



江戸時代の建立とされる本堂。傷みが進む



本堂の天井に設置された火災感知機



【調査票記入者(久門たつお)の感想】

県指定の鎌倉時代の仏像を安置する江戸時代の本堂は柱などの老朽化がかなり進んでいる。地元自治会の費用のみで改修工事を行うのは厳しいと考えられ、公的補助が検討されることを望みたい。